

新春講演会

生きている山梨の自然

～その恩恵と脅威～

【講師】 こしみず 輿水 さとし 達司 氏 (山梨県立大学特任教授)

地球規模でユニークな南アルプスの地形・地質、そして、そこに生息する動・植物の特異性と多様で豊かな姿がある。また、良質の水を生み出す山々。この豊かで貴重な自然の恩恵は計り知れない。しかし、一度壊れると、もどには戻らない。

御坂山地、楯形山地、そして南アルプスの山々は、フィリピン海プレート、太平洋プレートの水平移動によるプレートの沈み込みにより押しつけられてできた。北岳山頂付近には赤道付近の深海底の堆積物も見られる。また、深く沈み込んだ太平洋プレートの活動により発生した火山活動でできた富士山や伊豆もある。そして、現在も世界でもトップクラスの早さで上昇中の南アルプス。山梨と周辺の自然はこれからどうなっていくのだろうか？



ミニヒマラヤ：南アルプス



北岳付近の海底堆積物と
高山植物 (タネマンマ)

【日時】 平成29年 1月27日(金) 14:00～15:30

【場所】 山梨県恩賜林記念館 (舞鶴公園内)

受講無料

【講師紹介】 輿水 達司 氏



山梨県北杜市生まれ。北海道大学理学部卒業、同大学大学院博士課程を修了し理学博士取得。平成7年山梨県環境局研究員。山梨県環境科学研究所部長等を歴任。現在、山梨県立大学特任教授。専攻は地質学・地下水学で、特に構造地質学・同位体地質学・地球環境科学の方面から南アルプスの地質構造や地下水循環などのほか、富士山・富士五湖の形成史研究を展開している。南アルプスユネスコエコパーク学術検討委員。

事前申し込み：資料を用意する都合から事前に参加申し込みをお願いします。

(一社) 山梨県治山林道協会 / (一社) 山梨県森林協会 共催

問合せ先 電話 055-251-5522 FAX 055-252-0244 Mail:ycray@y-shinrin.jp